

呼吸する住環境

# 個人住宅「ラピリハウス」

【S邸新築工事

・在来工法+ラピボード】

平成17年9月～12月



床下施工

↙  
壁面施工

↘  
床板の下の施工

↘  
屋根の施工



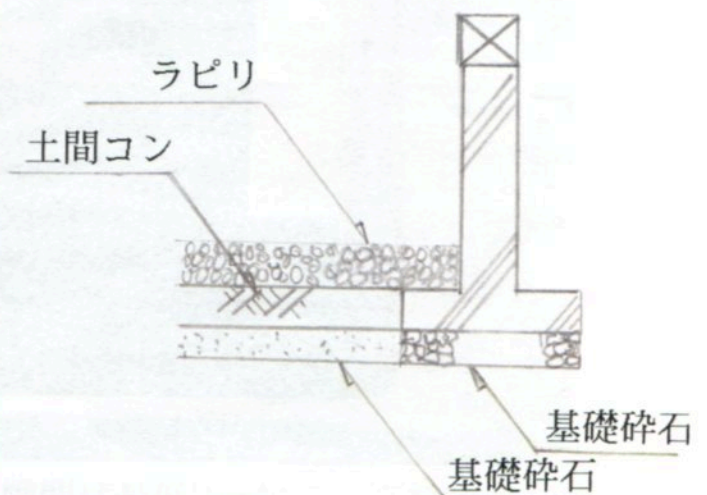
# 【床下の構造】



土間コンの上にラピリをしきました。



基礎などから3年間は水分の放出があります。ラピリを敷くと生コンから排出される水分を吸収できる状態になります。



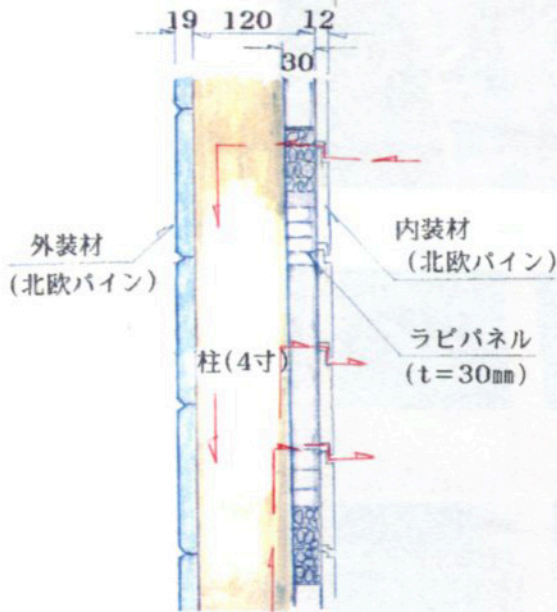


# 【壁 構造】

筋かいの外側、ラピボードは内側  
その間は床下からの空気が流れ  
込みます。ラピボードを通して入ってくる空気は

「空気の流れ」

外側 内側



クリーンです

※ 夏期は湿度の上昇、冬期は乾燥を防ぎます。

(湿度70%以上にはならないし、30%以下にもならない。)

「内壁に設置されたラピボード」



※ ラピボードは柱と間柱との間に設置されます。



## 【二階の床構造】

フローラーの下に60mm程度の空間を設け、ラピリ(乾燥状態)を敷くと断熱機能の他に階上の音が消えます。

車庫の上の底敷きラピリ



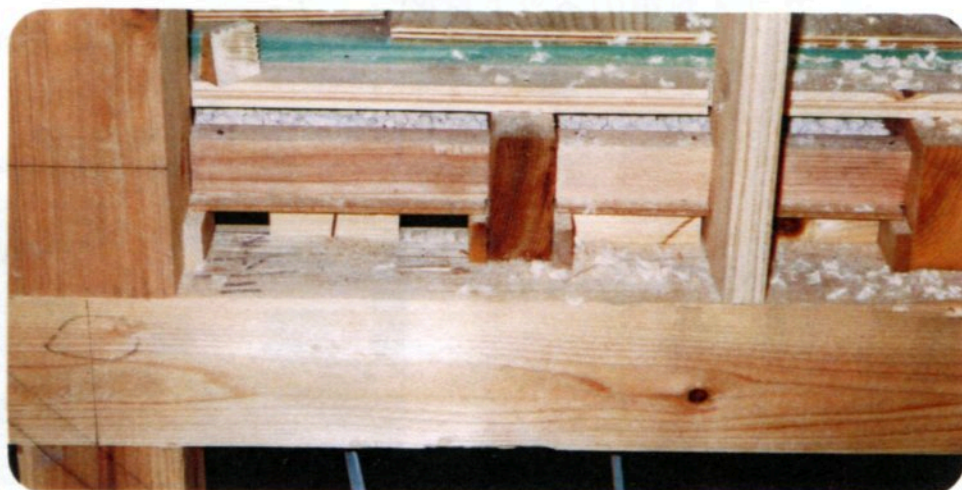
ラピボード

外部に接する部分の内壁には全部ラピボードを使用しています。



二階底敷きラピリ

二階のフローラー部分も全部ラピリを敷設しました。

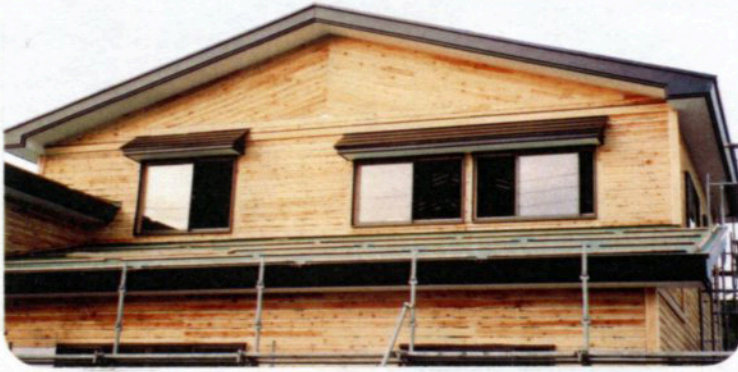


※ フローラー材とラピリの隙間は最低3cm程度は必要です。



# 【屋根の構造】

「防水シート設置」



「平板のズレ止め」



継ぎ目は溶着です。

「ポーラスラピリ平板、スナゴケ設置」



平板の上に苔をのせるだけです。

苔は空気中の水分を吸収し

ラピリとコケが水分を共有する  
構造になっています。

※ 夏期でも給水の必要はありません。

※ カラス対策のネットは必要です。

「緑化屋根完成」

